

救荒本草 山芥菜 同上

水邊ニ多ク生ズ、葉ハ芥ノ葉ニ似テ小シ互生ス、苗高サ一尺餘小ナル者ハ數寸、春枝梢ゴトニ小穂ヲナシ花ヲ開ク、極メテ小クシテ四瓣、形薺花ノ如シ、黃色後小莢ヲ結ブ、碎米薺莢ノ如シ、莢苗皆辛味アリ、遅ク生ズル者ハ後テ花開ク、故ニ四時皆花アリ、

〔重修本草綱目啓蒙〕^{十二}甘藍 草。ボタン。諸葛。ナ。筑前。唐山ニテ諸葛菜ト云ハ、蔓菁ノコトナリ、ボタン。ナ。播州ト。

ウ。ナ。加州。グ。ン。バ。イ。サ。ウ。

種樹家ニ多ク栽ユ、ソノ苗冬ヲ經テ枯レズ、葉ハ^{アブラナ}油菜ヨリ濶大ニシテ厚ク、色綠ニシテ白ヲ帶ブ、圓莖高サ一二尺、其頂ニ葉多ク重リ生ズ、冬春ノ交リ紫色ニ變ジ、葉皆相抱テ重葉紫、牡丹花ノ如シ、故ニハボタント云フ、春ノ末葉漸ク展開シ、綠色ニ變ズ、莖モ漸ク長ジ、三四月ニ至リ、上ニ長莖ヲ抽デ花ヲ開ク、四出、淡黃色ニシテ、油菜花ヨリ大ニシテ、開クコト遅シ、莢ハ油菜莢ヨリ微長シ、根ニ塊ナシ、莢熟シテ苗枯レズ、扨插シテ活シヤスシ、

〔剪花翁傳〕^{二月}開花。葉。牡。丹。花菜の花の如く色黄也、開花二月下旬、方地土撰ばず、肥淡小便冬より春に至て、三十日許に二三度澆ぐべし、其後に油粕を置ば、芽のよく上るなり、^{さしつか}撰春花の前に根に吹たる芽を缺て、即時に扨べし、春の土用より立秋へかけて扨ば、根をよく下す也、さて三步さ

しの小便を度々澆げば、秋の末より冬にかけて、大の葉牡丹となるなり、秋より冬にかけて扨ば、活すれども、春に至て悉く花に成て、葉牡丹とならず、されど又四季ともに芽を撰び扨ば皆大葉牡丹となる、此芽のえらびやうは、言筆をもて解得がたし、葉の形丸く厚し、葉莖共に色紫にして、少し青緑を帶たり、表面に白粉うすくか、れり、若葉は内に屈み張て、全體上品の牡丹花のごとく、大なるは經八寸餘あり、九月より葉の色紫になる也、四季ともに插花にして雅也、

碎米紫

〔重修本草綱目啓蒙〕^{十六}碎米紫 タ。ガ。ラ。シ。タ。子。ツ。ケ。バ。ナ。佐州。カ。ハ。タ。カ。ナ。薩州。ス。バ。ナ。同上